

## 第4学年 図画工作科学習指導案

**題材名** 「アートでかざろう！室見川」 (つくりたいものをつくる)

**本題材の指導にあたって**

このような題材を

- 本題材のねらいは、室見川という自然の大空間の中に作品を飾り、室見川をもっと楽しくしようと、福岡市内の街角アートの美しさや面白さから発想を広げ、主材料の木材、付加材料の粘土・アルミ線、アクリル絵の具を使って、形や色、材料を工夫してつくり、友達と作曲した「室見川サウンド」と共に作品のよさを味わうことである。

題材開発にあたっては、

- ・ 福岡市内の街角アートを取材し、周りの環境とかけ離れた形や色、大きさなど作品の面白さを味わい、大自然と音楽と作品の融合を通して、つくりだす喜びを味わいながら、室見川を愛し、自然を守る心情も育てられる題材の意義をつかんだ。
- ・ 教師も図工ノートに自分の思いや形や色、材料の生かし方をイメージ・スケッチにかいた。試作では、地域の特徴の材料「白漆喰」も試したが、時間を要するため省き、主材料に木材、付加材料にはにわ粘土とアルミ線、彩色は耐水性で被覆力のあるアクリル絵の具を選定した。
- ・ 福岡市内の街角アートを鑑賞し、室見川にアートを飾ったら楽しめることを視覚的に味わい、活動の意欲を高めるようにプレゼンテーションや「福岡まちかどアートマップ」を作成した。
- 主な指導の内容は、次の通りである。
  - ・ 福岡市内の街角アートの美しさや面白さを感じ取って、室見川がもっと楽しくなるような作品をつくらうとする。
  - ・ 自分の思いを持ち、つくるものの形、色、材料をイメージスケッチすること。
  - ・ のこぎり・金槌・きりなどの木工具や木材用接着剤、アクリル絵の具の使い方、同系色や補色の工夫、白を混ぜた明るい色や黒を混ぜた暗い色の工夫をすること。
  - ・ 異学年や地域の人達と鑑賞会を開き、自分たちでつくった音楽と共に自分や友達の作品のよさを味わうこと。
- 本題材の価値は、次の通りである。
  - ・ 室見川という身近な美しい大自然を愛する地域の活動に関わっていること。
  - ・ 4年生の総合的な学習「わたしたちの室見川」や理科「生き物を調べよう」、地域行事「灯明祭り」、家庭生活でも室見川のよさを味わっていること。音楽「音楽で描こう」の学習から、室見川のよさを音楽に表現する楽しさを味わっていること。
  - ・ 自然の中に飾ったときに作品が映える色の組み合わせ方や白の混色の技法を工夫してつくること。室見川の環境を守るように丈夫で美しくつくるための用具の使い方や接着接合の仕方を身につけること。
  - ・ 角材の重さや板材の加工を生かすこと。乾いたら土粘土よりも堅牢になる「はにわ粘土」や形を変えやすいアルミ線のよさを生かすこと。
- 教科書題材との関連については、次の通りである。
  - ・ 3・4年生図画工作科教科書下巻の「材料ものがたり」(楽しい造形活動)
  - ・ 前学年題材の「きってきってトントントン」(楽しい造形活動)
  - ・ 次学年の「パズルをつくらう」(つくりたいものをつくる)

このような子どもだから

- 総合的な学習「わたしたちの室見川」や理科「生き物を調べよう」で季節ごとの室見川を探索し、自然の美しさを味わっている。図工「新・室見川児童伝説」で、室見川のよさを伝える絵画表現を楽しんでいる。表現したい思いにこだわりを持ち、つくり出すことに意欲的に取り組むことができる。
- 粘土・木材・アルミ線の塊材・面材・線材の組み合わせによってつくる経験はまだない。

このような子どもに

- 室見川がもっと楽しくなるようなアートをつくらうとする。
- 形や色、材料から自由に発想をし、つくりながら発想を広げ、見通しをもって構想を練りながらつくりすることができる。
- 丈夫に美しくつくるために、用具の使い方や接着・接合の仕方を身につけることができる。
- 異学年や地域の人たちなどと自他の作品のよさを味わうことができる。

このような展開で

- |                         |   |  |
|-------------------------|---|--|
| (1) 探索活動<br>「自分の思い探し」   | → | ○ 室見川がもっと楽しくなるように自分たちがつくったアートを飾ることへの期待感を抱き、福岡市内の街角アートの資料から、自分の思い「室見川に飾ると、どんな気持ちになるアート」をつくるか話し合いと交流活動をさせる。    |
| (2) 探索活動<br>「イメージづくり」   | → | ○ 木材・粘土・アルミ線の実物を提示する。材料コーナーを設置し、組み立ててイメージをつくらせる。<br>○ 街角アートやミロの作品などの資料で形や色のイメージをつくらせる。                       |
| (3) 探索活動<br>「材料探し」「形探し」 | → | ○ 自分の思いに合った木材・粘土・アルミ線の方法探しをさせる。<br>○ 木材・粘土・アルミ線の方法から、自分の思いにより近い形を試行錯誤しながらつくる演示をする。                           |
| (4) 探索活動<br>「技探し」「色探し」  | → | ○ のこぎりや金槌などの使い方の資料提示と演示をする。<br>○ 似た色の仲間や反対の色から自然の中に飾ったら映えると思う色探しをさせる。<br>○ アクリル絵の具の使い方と白や黒の混色の仕方の資料提示と演示をする。 |
| (5) 探索活動<br>「作品のよさ探し」   | → | ○ 室見川で鑑賞会を開き、自他の作品のよさを味わわせる。   |

指導計画（全9時間）

学習 課程	時間 目	主 な 学 習 活 動 と 内 容	展 開 の 工 夫
感受・着想		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探索活動 （総合的な学習）「室見川のよさ探し」</li> <li>（理科） 室見川の観察</li> <li>（課外：夏休み中） 福岡市内街角アートマップ探検 「まちかどアートのよさ探し」 （音楽）「室見川サウンド」（創作）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 室見川に飾るアートに興味・関心がわくように、室見川のよさについて調べさせる。</li> <li>○ 福岡市内の街角を飾るアートを実際に鑑賞し、アートを見たときの気持ちを味わわせる。</li> <li>○ 室見川の美しさや楽しさを味わえるように打楽器の曲を作曲する。</li> </ul>
発想・構想	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探索活動 「自分の思い探し」</li> <li>・ 室見川に飾ると、アートを見た人がどんな気持ちになるアート</li> <li>○ 探索活動 「イメージづくり」</li> <li>・ 木材・粘土・アルミ線の材料からのイメージづくり</li> <li>・ 形や色のイメージづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 室見川の様子分かるように、プレゼンテーションを準備し、見せる。</li> <li>○ 「アート」の意味を書いたカードを準備する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「アート」とは、自分の表したい気持ちを色や形で表すこと。</li> </ul> </li> <li>○ 材料について分かるように、主材料、付加材料の実物を準備し、見せる。特に、粘土の一人分の量について、子どもたちに把握させておく。</li> <li>○ 子どもたちが、室見川に飾るアートをつくることに興味・関心が高まるように、福岡市内の街角アートのプレゼンテーションを見せる。</li> <li>○ 表したい自分の思いを考え、一人一人が構想を持てるように、福岡市街角アートマップやジョアン＝ミロの作品、高鶴玄の作品などの探索活動のコーナーを設定する。夏休みに鑑賞した街角アート探検日記を振り返らせる。</li> </ul>
表現	2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探索活動 「材料探し」「形探し」「技探し」</li> <li>・ 木材・粘土・アルミ線の材料探し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に、子どもたちに、木材はいろいろな形や色の木切れを集めておくことを知らせておく。</li> <li>○ 子どもでは集めにくい木材を「森林組合」や地域の建材を扱う会社などから、多様な形や大きさの木材を調達しておく。</li> </ul>

表現	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木材・粘土・アルミ線の材料でつくる形探し</li> <li>のこぎりや金槌などの使い方の技探し</li> </ul> <p>5</p> <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探索活動「色探し」「技探し」</li> </ul> <p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクリル絵の具の使い方の技探し</li> <li>色の仲間わけによる自分の思いに合った色探し</li> <li>白と黒の混色による自分の思いに合った色探し</li> </ul> <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探索活動「もっと工夫探し」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりやクランプ、金槌、くぎ抜きなどの用具の使い方について確かめること。</li> <li>アルミ線の使い方(切ったところ2箇所は丸める。)やラジオペンチの使い方をすること。</li> <li>イメージスケッチを振り返りながら、工夫して形づくりをすること。</li> <li>見る人が喜ぶように丈夫に美しくつくること。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">     自分の思いが伝わるように、色の組み合わせを工夫しよう。   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いに合わせて色を工夫すること。</li> <li>色の仲間を考え、いろいろな色の仲間を知ること。</li> <li>赤や青に白を混ぜると、明るい色ができることを知ること。</li> <li>赤や青に黒を混ぜると、暗い色ができることを知ること。</li> <li>白を混ぜた色のつくり方は、白を出してから、色を少しずつ足していくこと。</li> <li>アクリル絵の具の使い方を確かめること。</li> <li>木材の色や模様、木の皮など材料のよさを生かしたいところは色をつけなくてもよいこと。</li> <li>図工のノートを振り返りながら、よりよくなる工夫をしていくこと。</li> <li>見る人が喜ぶように丁寧に美しくぬること。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を「自分思いをみてみてコーナー」に飾り、自分の思いを振り返りながら、教師や友達と交流して、さらに工夫するところを探してかく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のこぎりやクランプ、げんのう、くぎ抜き、きり、ラジオペンチ・木工ボンドなど、用具の使い方がよく分かるように、資料を提示し、演示する。</li> <li>特に、安全面からのこぎりやきりなどの持ち運び方やアルミ線の切った後始末については演示して確認する。</li> <li>自分の思いを形で表す材料を探索するように、「木材コーナー」や「アルミ線コーナー」などを設定する。</li> <li>子どもたちが図工ノートをいつでも振り返られるように、また、助言や共に活動するなどの支援に生かせるようにクリアファイルに入れて、携帯させておく。</li> <li>視覚的に色の工夫がわかるように、次の資料を提示する。       <ul style="list-style-type: none"> <li>基本の色見本・・・板書(赤黄緑青紫など11色の色相環)</li> <li>そのほかの色見本・・・常掲</li> <li>白や黒を混ぜた色見本・・・板書</li> <li>白の混ぜ方の資料・・・白の混色コーナーに掲示</li> <li>黒の混ぜ方の資料・・・黒の混色コーナーに掲示</li> </ul> </li> <li>色を探しながらつくれるように、「アクリル絵の具30色の色カード」(小さなカード)を一人一人に持たせる。</li> <li>自分の思いがもっとよく表せる工夫を見つけられるように、振り返り活動の場「自分の思いをみてみてコーナー」を設定する。</li> </ul>
鑑賞	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探索活動「作品のよさ探し」</li> <li>自分の作品のよさ探し</li> <li>鑑賞してくれた人の話から自分の作品の他のよさ探し</li> <li>友達の作品のよさ探し</li> </ul>	<p>5</p> <p>室見川に作品を飾って、『室見川アート展覧会』を開き、自分や友達の作品をよさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の人達にも見に来てもらえるように、ポスターを作り知らせること。</li> <li>室見川のどこに飾ったら、自分の思いがよりよく表れるかを考えて、飾る場所を決めること。</li> <li>「発表カード」や「鑑賞カード」を活用して、自分の思いや工夫点、友達の作品のよさを話し合えるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが完成した喜びを味わえるように、公民館や地域掲示板、お便りで発信する。</li> <li>室見川に行き、自分の思いを確かめて、作品を飾る場所を考えさせる。</li> <li>作品のよさを深く味わってもらえるように、自分たちで作曲した打楽器の音楽「室見川サウンド」を演奏する。</li> </ul>

## 第4学年 図画工作科学習指導案（1／9）

**本時** 6月21日木曜日9：30～10：30

場所：第2音楽室

**本時の目標**

○ 室見川がもっと楽しくなるようにアートをつくって飾ることに関心を持ち、自分の思いを膨らませながら、イメージスケッチをかくことができる。

**授業仮説**

○ 子どもたちに「自分の思い探し」や「イメージづくり」の探索活動の活動提案や資料提示をすれば、自分の思いを持ち、イメージを簡単に描くことができるであろう。

**準備**

(児童) 図工ファイル、筆箱、色鉛筆、のり(教師) パソコン、プロジェクター、「街角アート」やミロの作品の写真資料、木材・はにわ粘土・アルミ線など材料、友達の作品

**本時展開**

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>○ 探索活動① 「自分の思い探し」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室見川に飾ると、どんな気持ちになるアート</li> </ul> <p>○ 探索活動② 「イメージづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木材・粘土・アルミ線の材料からのイメージづくり</li> <li>・ 形や色のイメージづくり</li> </ul>	<p>○ 室見川に飾るアートをつくる興味・関心が高まるように、室見川の美しさや楽しさと、そこのアートを飾ったときには、もっと楽しくなる様子の違いが分かるプレゼンテーションを作成し、見せて話し合わせる。</p>  <p>○ 「アート」の意味を書いたカードを準備する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「アート」とは、自分の表したい気持ちを色や形で表すこと。</li> </ul> <p>○ 材料について分かるように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主材料の木材 (重さのある角材、長さのある角材、平面の板材、)</li> <li>・ 付加材料の「はにわ粘土」と簡単な参考作品</li> <li>・ アルミ線 (太い・中位・細い)</li> </ul> <p>の実物を準備し、さわったり、組み合わせたりさせる。 特に、粘土の一人分量(一袋)について、子ども達に把握させておく。</p> <p>○ いろいろな思いを探して、自分の思いを決める活動をするを意識づけるように、「自分の思い探し」の言葉を掲示する。</p> <p>○ 子どもたちが、室見川に飾るアートの自分の思いの発想を広げられるように、表してみたい思いをカードに書き、黒板に掲示して、自分の思い探しの探索活動コーナーとして、話し合わせる。</p> <p>○ 自分の思いを表すイメージを広げて、つくりたいものを決める活動をするを意識づけるように、「イメージづくり」の言葉を掲示する。</p> <p>○ 表したい自分の思いを考え、一人一人が構想を持てるように、室見川の自然マップや福岡市街角アートマップ、ジョアン=ミロの作品、高橋玄の作品などの探索活動のコーナーを設置する。また、夏休みに鑑賞した街角アート探検日記を振り返らせる。</p> <p>○ 活動の意欲を高められるように、評価補助簿を利用し、賞賛や共感の言葉かけをしたり、活動が停滞している子には、共に探索活動をしたりして助言をする。</p> <p>○ 一人一人が、今日の活動のよさを話せるように、話す視点を明示して3人程度の少人数で話し合わせる。</p>
<p>1. 冬の室見川の様子を想起し、アートをつくることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">たくさんの人たちが、もっと室見川を楽しめるように、どんなアートをつくるか考えよう。</p> </div> <p>○ 写真資料を見て、室見川の自然の中に、アートを飾ったら、楽しいだ という思いを膨らまして想像すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色が楽しい街角アート</li> <li>・ 形が楽しい街角アート</li> <li>・ 同じ形の並び方や色を変えると楽しい街角アート</li> <li>・ 外のアートの大きさが楽しい街角アート</li> </ul> <p>2. 表したい自分の思いを考える。</p> <p>○ 自分たちがつくったアートを見た人がどんな気持ちになるものをつくりたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室見川に飾ると、元気が出てくるアート</li> <li>・ 室見川に飾ると、心が安らぐアート</li> <li>・ 室見川に飾ると、びっくりするアート</li> <li>・ 室見川に飾ると、やさしい気持ちになるアート</li> </ul> <p>○ つくる材料について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木材(主材料) はにわ粘土(付加材料) アルミ線(付加材料)</li> </ul> <p>3. 構成を考え、イメージスケッチをかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いをどんな形や色、材料でつくるか考えてかくこと。</li> <li>○ 簡単にイメージスケッチをいくつかかき、一番つくってみたいと思うものを図工ノート一番上に貼付すること。</li> <li>○ イメージスケッチは、つくりながらよりよく変えていくこと</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>室見川に飾ったら、うきうきするアートをつくろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin-right: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin-right: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>これを一番上にはろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px;"></div> </div> <p>4. 本時の活動を振り返り、次時の活動を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いとイメージスケッチにかいた形や色、材料の工夫したところを話し合う。</li> <li>○ 今日の活動を振り返り、図工ノートにかく。次は、形作りをするを知り、材料を集めてくる意欲を持つ。</li> </ul>	

第4学年

図画工作科学習指導案（6・7／9）

本時

公開授業Ⅰ

場所：プレールーム

本時の目標

○ 自分の思いを振り返り、室見川に飾るアートの色の組み合わせを工夫してつくることができる。

授業仮説

○ 色探しの探索活動のための資料提示や演示、コーナーの設定をすれば、子どもたちは、自分の思いにあった色を探しながら工夫して彩色することができるだろう。

準備

（児童）接合剤、割り箸、道具入れ、図工ノート、色見本カード（教師）木材、のこぎり、くぎ、金槌、アクリル絵の具、筆、パレット、道具の使い方資料、街角アート写真

本時展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>○ 探索活動 「色探し」 「技探し」</p> <p>・ アクリル絵の具の使い方の技探し</p> <p>・ 色の仲間わけによる自分の思いにあった色探し</p> <p>・ 白や黒の混色による自分の思いにあった色探し</p> <p>1 本時の活動とめあてについて話し合う。</p> <div data-bbox="324 399 1086 446" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                 自分の思いがよく表れるように、色の組み合わせを工夫しよう。             </div> <p>2 似た色の仲間と反対の色、明るい色、暗い色、アクリル絵の具の使い方などについて話し合い、自分の思いにあった色探しの探索活動をしなが、色を工夫してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 似た色の仲間（例えば赤の仲間は、橙色・朱色など）があること。</li> <li>○ 似た色の仲間の中に、反対の色を組み合わせると美しいこと、目立つようになることを知ること。</li> <li>○ 赤や青に白を混ぜると明るい色、黒を混ぜると暗い色ができることを知ること。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白を混ぜる色のつくり方は、白を出してから色を少しずつ足していくこと。</li> <li>・ 黒を混ぜる色のつくり方は、色を出してから黒を少しずつ足していくこと。</li> <li>・ 白や黒の混色をするときは、「色づくりコーナー」ですること。</li> </ul> </li> <li>○ 「アクリル絵の具の30色・色探しカード」を使って、色の組み合わせを考えてよいこと。</li> <li>○ 重ね塗りができ、やり直しが可能であること。</li> <li>○ 室見川に飾ると美しいように、丁寧に彩色すること。</li> <li>○ 作品を「自分思いをみてみてコーナー」に飾り、自分の思いを振り返りながら教師や友達と交流して、さらに工夫するところを探しながらつくってよいこと。</li> </ul> <div data-bbox="436 1077 985 1268" style="text-align: center;"> </div> <p>3 本時の活動を振り返り、図工ノートに思いに沿った探索活動ができたか記入し、次時の活動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いと色の工夫したところ、次にしたいことを話し合う。</li> <li>○ 今日の活動を振り返り、図工ノートにかく。</li> <li>○ 次は、さらに色を工夫して仕上げることを知り、次時への意欲をかめる。</li> </ul>	<p>○ 自分の思いを振り返り、色の工夫への意欲を高めるように、図工ノートで自分の思いを振り返らせる。</p> <p>○ 似た色・反対の色・明るい色（白の混色）・暗い色（黒の混色）について、子どもたちが視覚的に分かるように、アクリル絵の具でつくった資料を図式化して提示する。</p> <div data-bbox="1187 470 2094 1077" style="text-align: center;"> </div> <p>○ 白を混ぜた色のつくり方や黒を混ぜた色のつくり方が分かるように、資料を提示するとともに、道具を使って演示する。</p> <p>○ 自分の思いにあった色の組み合わせの工夫ができるように、「アクリル絵の具の30色・色探しカード」を作品に置いて考える方法を演示する。</p> <p>○ 自分の思いが表せるように、色の組み合わせや明るい色のつくり方など色の工夫を自分で考えて決める活動を意識づけるように「色探し」「技探し」の言葉を掲示する。</p> <p>○ 自分の思いがうまく表れているか振り返りながら、さらに工夫するところが見つけられるように「自分の思いをみてみてコーナー」を設置し、自由に鑑賞させる。</p> <p>○ 活動の意欲を高められるように、評価補助簿を利用し、賞賛や共感の言葉かけをしたり、活動が停滞している子には、共に探索活動をしたりして助言をする。</p> <p>○ 一人一人が、今日の活動のよさを話せるように、話す視点を明示して3人程度の少人数で話し合わせる。</p>

# 「アートでかざろう！室見川」

**室見川が、もっと楽しくなるようにアートをつくってかざろう！**

自分の思い（表したいこと）・・・「室見川にかざったら、どんな気持ちになるアートをつくりたい。」

イメージ・ラフスケッチ： 主な材料の木材とその他の材料のねん土・アルミ線を どんなふうに使ってつくろうかな。

- 室見川にかざったら みんなが楽しくなるようなすてきなアートを考えよう！
- いくつか考えてかいてみよう！1番いいと思ったものを、1番上にはりつけよう。
- 材料の使い方の説明を矢印でかくと分かりやすいね。

のり	のり	のり

題名 『 』

形や色は作りながら、よりよいものにしていこう！題名は、後でかえてもいいよ。

自分の思いはうまく表せましたか。



つくるときに、心配なことはないですか。

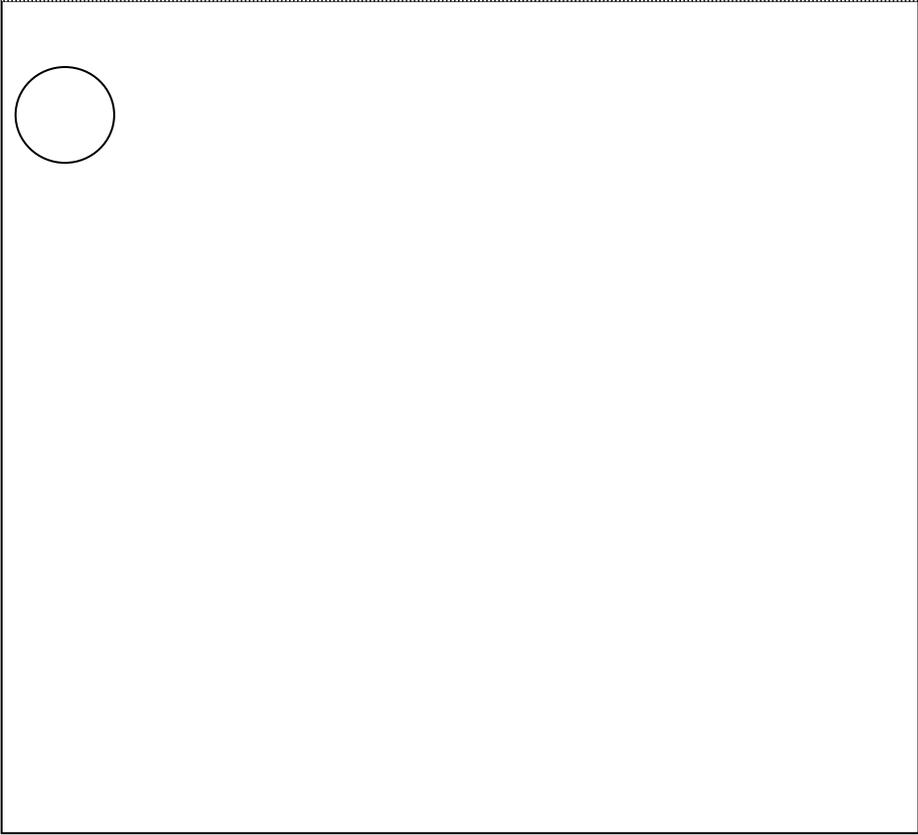
	制作案内（9時間）	ふり返り
<b>2</b> <b>3</b> <b>4</b> <b>5</b> 表現 ① 形探し		<p>自分の思いはうまく表せましたか。(工夫したこと。こまっていること。)</p> <div data-bbox="1193 228 1560 421" style="text-align: right;">  </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>次にしたいことは何ですか。</p>
<b>6</b> <b>7</b> 表現 ② 色探し		<p>自分の思いはうまく表せましたか。(工夫したこと。こまっていること。)</p> <div data-bbox="1209 752 1576 945" style="text-align: right;">  </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>次にしたいことは何ですか。</p>
<b>8</b> 表現 ③ 色探し・完成		<p>自分の思いはうまく表せましたか。(工夫したこと。こまっていること。)</p> <div data-bbox="1209 1281 1576 1473" style="text-align: right;">  </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>次にしたいことは何ですか。</p>
<b>9</b> 鑑賞作品のよさ探し		<p><b>鑑賞会で伝えたいこと</b></p> <p>表したかった室見川のよさ：</p> <p>形や色や材料で工夫したこと：</p> <p>鑑賞会の感想：</p> <div data-bbox="1216 1944 1583 2136" style="text-align: right;">  </div>

4（とてもよく表せた） 3（まあまあ表せた） 2（あまり表せなかった） 1（うまく表せなかった）

いくつか考えてかいてみよう！自分の思いが一番よく表れるイメージスケッチを一番上にはりましよう。

の中に  
何番目にかいたものか、番号を  
かいておきましょう。

のり                      のり                      のり



のり                      のり                      のり

